

資本家階級は悪劣妙なる手段で労働条件の固断なく改悪を行ふので、産業の合理化を行ひ労働の強化をはかり能率の増進を強制し収入の減少をはかりつゝある、斯る時受買制度は彼等資本家にとつて最も御都合のよいものである。例へば七時向労働制を獲得したとしても受買制度が実行されることによつてその水を破壊することに於て、彼等資本家はかゝる御都合のよい受買制度を煽動し此れを強制し以つて労働強化の増大と失業者の相対的激増をいよゝ大ぶらしむるのである。我々は本、る功効なる資本家の手段に対し徹底的にこの水を粉砕しなげればならぬ。

実行方法 受買制度の本質を不斷に暴露しあらゆる機会をとらへ猛烈なる反対斗争を行ふと同時に週給制の獲得、最低賃銀制の獲得、七時向労働制の獲得等々結びつけて斗争を展開すること!!

失業反対斗争に関する件

服部分会提案

深刻なる経済恐慌の最真中に四苦八苦の状態をつゞけて居る資本家共は一切の犠牲を労働者大衆に背負はせんとして、極めて大規模なる産業の合理化を企て、今や大量的裁員は随所に行はれつゝある、従つて我々は最も甚しい大衆の困窮時代に生活してゐると言はなげ水はならぬ、失業の大群は刻々に其の数を増し今や正に三百萬の大衆が餓死を強制せられつゝあるのだ。然もこの失業の嵐は資本主義の存続する限り増々深刻に吹きつゝある。この失業問題は決して失業者だけの問題ではなく全労働者の死生の問題である、現に就業してゐる労働者も不斷に失業の恐怖におそはれてゐる。全労働者は起つてこの失業反対の斗争を行はなくてはならぬ。

実行方法

失業者は仕事とパンをよこせ、就業労働者は時間を短縮し、のストライキをかねてこの要求を結びつけ、失業反対斗争同盟を樹立し、失業と餓死の政府打倒の斗争を行ふ。

国際労働会議否認に関する件

石原分會提案

第一次帝國主義戦争―所謂欧州大戦直後に於て世界各國の全労働大衆は戦争のために支配階級から欺瞞され居つた事を知つた時、極度の反抗と憎罵に毛へ立ち、革命的状態を形成して資本主義の根本をユリ動かし、各國が革命の危機にさらされた時、世界帝國主義ブルジョア階級は恐怖の絶頂にあつた。こゝうした時に彼等資本家地主は自己の支配的地位永続保持のため、多量な共産主義を現はし、国際労働会議により、労働者を欺瞞とオイジユするたために作つたのがこの「国際労働会議」である。だからこゝ今日の日、まさにその反動性を現はし、支配階級の私腹を肥す事の計画してゐるのだ。然も国際労働会議の幹部トーマス及フインメン等は帝國主義世界戦争の際には吾々の利益を犠牲にして自己の安全崇建のため、労働者に熱湯をあびせかけた。国際的暴行者であり、国際的大家多量幹である。かゝる国際労働会議は労働者の手によつて徹底的に粉砕しなげればならぬ。そのためには国際労働会議と支持する多量共産主義を以つて組織せる日本労働倶楽部粉砕の斗争と捲き起すべきである。

実行方法

日本労働倶楽部粉砕の意義を全組合員に知らしめ、俱樂部反対派と組織し全面的斗争に参加すること。